

9) PICS 対策・生活の質改善検討委員会 調査結果

調査の概要

PICS 対策・生活の質改善検討委員会では、医療従事者の PICS に関する認知や取組等の現状を把握するため、日本集中治療医学会の会員を対象に、2019 年 4 月 8 日から 22 日にインターネットを通して無記名アンケート調査を実施しました。

合計 453 名より回答をいただき、医師と看護師の回答が多数を占めました（図 1）。

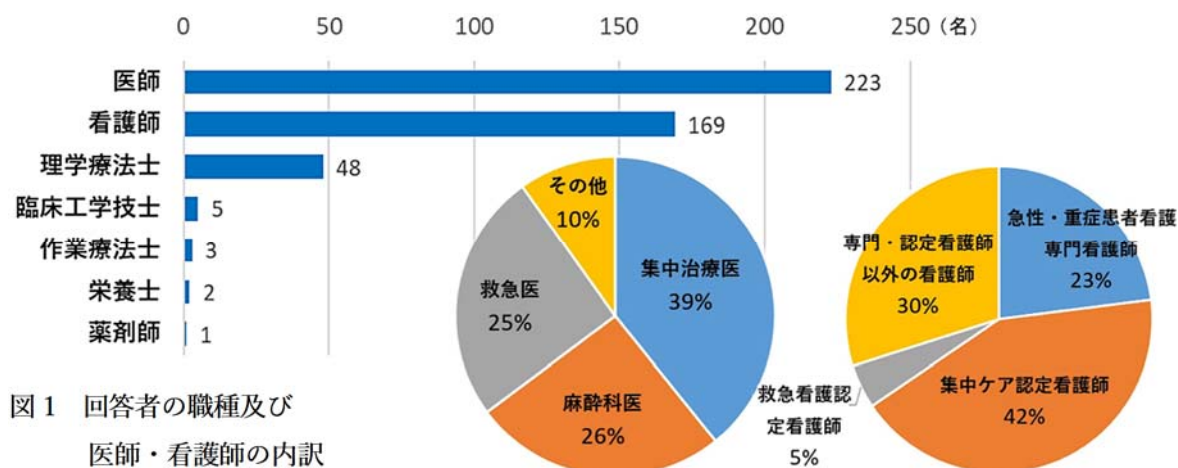


図 1 回答者の職種及び
医師・看護師の内訳

PICS 等の認知度は 6 割程度

「PICS : Post-Intensive Care Syndrome」という用語や疾患概念が ICU で周知され使用していると答えた方の割合は 61%で、「ABCDEF バンドル」という用語が ICU で周知され使用していると答えた方の割合は 57%でした（図 2）。

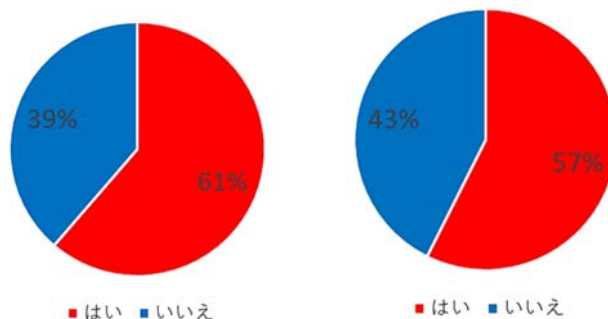


図 2 PICS (左) や ABCDEF バンドル (右) が
周知・使用されているか n=447

ほとんどの回答者の施設が PICS 対策として早期リハビリテーションを実施

施設で実践している PICS 対策では、早期リハビリテーションが最多の 92.1%であり、非薬理的せん妄ケアが 66.2%で 2 番目に多い結果でした（図 3）。

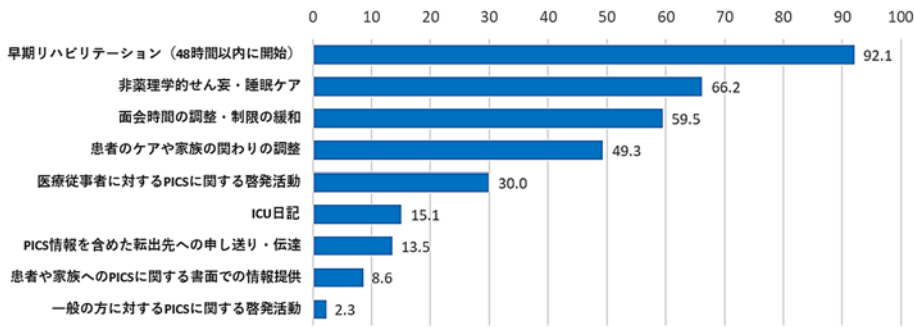


図3 施設で実践している PICS 対策 n=444

半数以上の回答者の施設が身体・認知・精神障害や QOL の評価を実施していない

ICU 患者の退室時あるいは退院時に、身体機能・認知機能・精神障害や QOL の評価をすべての患者に実施していると答えた方は 1 割程度でした (図4)。

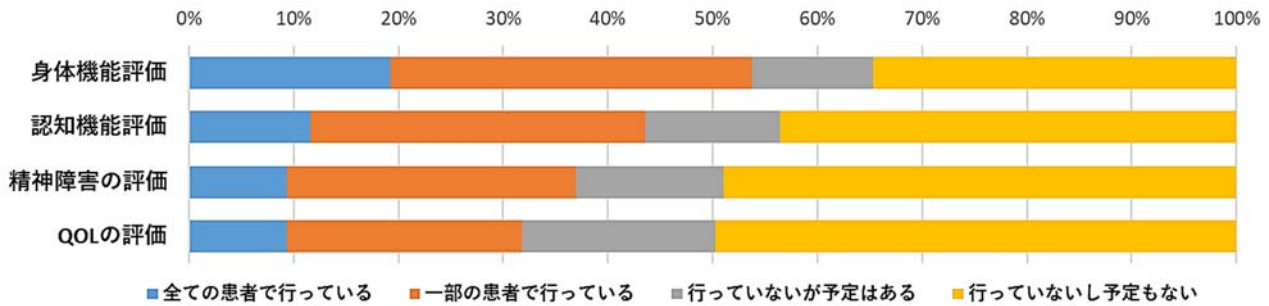


図4 ICU 患者の退室時あるいは退院時の機能評価 n=441

PICS 外来や PICS ラウンド、家族のフォローアップを実施している回答者の施設は 0~1 割程度

ICU 退室後の PICS 症状の診療を目的としたフォローアップ外来 (PICS 外来)、PICS 症状の診療を目的としたフォローアップラウンド (一般病棟に対する PICS ラウンド)、亡くなった患者の家族をフォローアップする介入をすべての患者に実施していると答えた方はそれぞれ 1%以下でした (図5)。

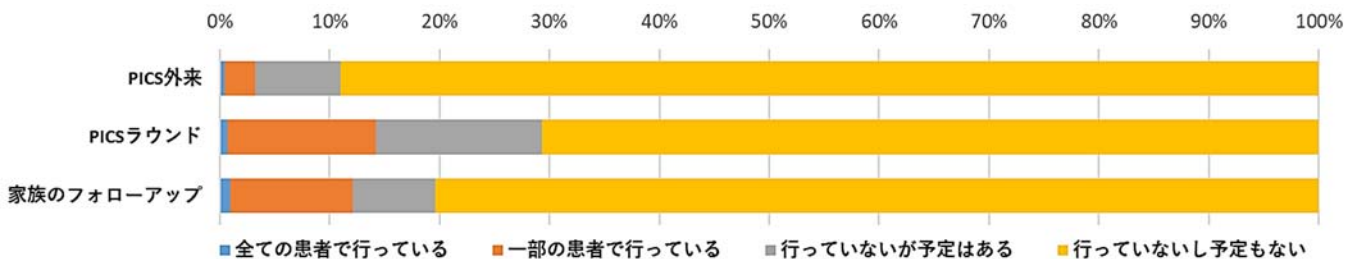


図5 ICU 患者の退室後の PICS 対策介入 n=437

これらは日本集中治療医学会の会員（比較的 PICS に関わりのある医療従事者）を対象にした調査結果であり、実際の診療現場では、PICS 等の認知度や対策等の実施率は本調査結果よりも低いと推察されます。PICS の予防と対策は、ICU 等の高度急性期や急性期病床だけではなく、回復期や慢性期、さらには地域全体で切れ目なく取り組むことが求められます。まずは医療従事者をはじめ多くの方が PICS について知り、PICS の予防と対策の充実が健康寿命延伸のための大きな課題であると認識することが重要です。

文献

日本集中治療医学会 PICS 対策・生活の質改善検討委員会. 本邦の診療現場における post-intensive care syndrome (PICS) の実態調査. 日集中医誌 2019;26:467-75.